

名 称	2019年度 第19-4回 中国本部役員会		
開催日時	2019年12月1日(日) 9:30~11:50	議事録	2019年12月1日
開催場所	日本技術士会中国本部会議室	作 成	作成者：川端 誠
役員の出欠 □：出席 △：委任 ■：欠席	<p>□大田一夫 □伊藤 徹 △渡部 修 □木口誠二 □外山涼一 □住居孝紀 □乗安直人 □上田昭彦 △福田直三 □岡村幸壽 □大江清登 □山本和宏 △河野 徹 □中田圭吾 △長原基司 △青原啓詞 □小田宗孝 △三角春樹 □中島泰孝 □川端 誠 □若岡信利 □峯岡静彦 △桧垣光次 □北浦直子 □平尾繁和 □田中秀典 □田邊信男 △河内義文 □鈴木正範 △今井田敏宏</p> <p>役員総数30名 出席者24名 委任状6名 欠席0名 合計30名で役員会は成立</p>		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回議事録の確認 2. 理事会・本部長会議・総務委員会・全国事務局長会議報告 3. 2020年度中国本部/岡山・鳥取・山口県支部事業計画・収支予算計画 4. 中国本部主要事業について 5. 中国本部委員会・部会幹事会について 6. 委員会・部会・研究会の活動報告について 7. 県支部活動報告 8. 中国本部活性化について 9. その他 		
配布資料	<p>資料1 第19-3回中国本部役員会議事録(案)</p> <p>資料2.1 理事会報告(11/13)</p> <p>資料2.2 本部長会議報告(9/25)</p> <p>資料2.3 総務委員会報告(10/29)</p> <p>資料2.4 全国事務局長会議報告(11/19)</p> <p>資料3.1 事業計画</p> <p>資料3.2 中国本部収支予算計画書</p> <p>資料3.3 岡山県支部 収支予算計画</p> <p>資料3.4 鳥取県支部 収支予算計画</p> <p>資料3.5 山口県支部 収支予算計画</p> <p>資料4.1 広島例会案内</p> <p>資料4.2 一次合格祝賀会案内</p> <p>資料4.3 第2回防災講演会案内</p> <p>資料4.4 第26回西日本技術士研究・業績発表年次大会【鳥取】 地域産官学(岡山)[2020年9月12日(土)開催予定]</p> <p>資料5 2019年度委員会・部会幹事・研究会名簿</p> <p>資料6.1 2019年度中国本部関連の行事開催実績・予定</p> <p>資料6.2 委員会活動報告</p> <p>資料6.3 部会活動報告</p> <p>資料7 岡山県支部活動報告</p> <p>資料8.1 中国本部活性化について</p> <p>資料8.2 現役若手世代技術士CPD行事補助費の申請に関する留意事項と様式の改訂</p> <p>資料8.3 中国本部機械部会若手CPD企画現役若手世代企画事業報告</p> <p>資料9 中国本部Web会議普及小委員会活動報告</p> <p>その他 呉高専と中国本部との連携協力実績について</p>		

名 称	2019 年度 第 19-4 回 中国本部役員会
議 事	<p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部長議事進行 <p>1. 前回議事録の確認</p> <p>なお、何か異議があれば、速やかに事務局に申し出のこと。</p> <p>2. 理事会・本部長会議・総務委員会ならびに事務局長会議報告</p> <p>2-1 理事会報告：木口理事（副本部長）</p> <p>【審議】・創立 70 周年記念全国大会の企画運営に関わる委員会の設置及び当該委員会委員の委嘱について説明。2021 年度になるが開催日程等詳細は未定だが秋篠宮の出席は無理で他の皇族になる模様</p> <p>【報告】・令和元年度技術士二次試験結果について報告。昨年度より 592 名増加し申込み者の受験率は 79%。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生による一次試験中止に伴う再試験の実施は令和 2 年 3 月 7 日となった。二次試験申し込みの日程が短い為受付期間の延長も検討されている模様。今後は試験実施の可否判断の明確化を行い受験者の予見可能性を担保する。 ・2020 年度事業計画・収支予算(案)策定について報告。収支状況は改善傾向にある。6 項目の基本方針が提案された。 ・HP 改善TF 活動内容の報告。地域本部の意見を聞きながら統一感を持たせロゴマークの統一を図る。内容変更に伴うコストは本部で負担すべきとの意見が出た。 ・グローバル化に伴い日本人の英語表記について文科省から公文書で通達が発出された。姓名の順で姓はローマ字大文字で名は最初の一字だけ大文字であとは小文字。 ・千葉県支部HP における「見解書」の掲載について報告。一般企業が販売する製品の効用について技術士会としての見解を掲載していた。先方の弁護士から事実無根との抗議があり今後の対応については千葉支部が行い、統括本部は関わらない方向で検討する。技術士会として定款にない業務は行わない事としあくまでも個人的見解に留めることがポイントとなる。千葉支部は謝罪する方向で検討中との事。 <p>2-2 地域本部長会議報告：大田中国本部長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶で地域組織と部会は大事な関係であり 21 技術分野が統合的にアウトプットする仕組みの構築を構築すべき→ セクショナリズムの撤廃、情報基盤のプラットホーム化ならびに全体のビジョンづくり ・今年度の新規入会者は初年度会費減免の効果もあり 162 人増加、年度末の退会者が出ないようにフォローする事 ・行事共済講演名義使用時の許諾承認で現状は都度承認で煩雑になっている。総務委員会で検討中であり地域本部事務局の意見も踏まえ改正する予定 ・CPD 参加様式に所属氏名の欄を追加する要望について 2 か月経過したが改善されていない。HP 視聴における e-CPD の掲載期間については今後明記する予定。 ・WEB 講演会の配信について個人でも可能なようにとの意見があるが、現在検討中の規定では個人は許可していない。試行期間を終え早期に規程を明文化して欲しい。 ・九州本部から統括本部 HP に会長表彰の掲載をして欲しいとの意見が出た。 <p>2-3 総務委員会報告：上田企画総務委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長表彰推薦の手引きの変更について報告。昨今の推薦者数の増加傾向は各地域本部の推薦要件にアンバラがあり是正のため手引きの文案を変更する。中国本部は、

名 称	2019 年度 第 19-4 回 中国本部役員会
	<p>現状でも新基準もクリアしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務委員会に先立って地域部会を開催し正会員の特別表彰について検討を開始した。技術的な貢献が大であり地域本部からは数年に一度の推薦がある程度でこれから検討を開始する。第 1 回特別表彰は 2021 年度 70 周年特別大会を予定。 ・行事後援等の名義使用に関する規則について報告。現状では総務委員会での事前承認が必要であるが、現状では運用は困難な状況である。公益法人の場合依頼と許諾が不整合である。今後はホワイトリストのような名簿を作成し事前登録制にするなどの検討が必要ではないか。 <p>2-4 事務局長会議報告：乗安事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度一般会計予算編成について報告。防災支援関係の委員会活動費用は地域本部活動費に見込む事。プラットフォーム化については統括本部が関与するのが望ましいとの意見。地域産官学（岡山）と西日本大会（鳥取）が 2020 年度はダブっている。今後他地域本部との調整を図る必要がある。 ・若手 CPD 活動の支援について報告。予算化されており有効に活用すべきであり県支部においても若手主体の行事であれば年 1, 2 件は申請可能。 ・地域本部 HP における会員コーナーの運用についての報告。CMS 画面を利用して地域本部（県支部）からアクセスが出来るので会員認証やコンテンツの検討などを行う事。会誌購読者はこれまで通りの情報が見られなくなるので「会員になる」「中国本部限り情報」等の検討が必要。 ・WEB 会議システムにおいて SKYPE システムから TEMS への中継が可能となるように中国本部から要請 ・入札参加資格における CPD 実績の扱いについて報告。登録資格の中に技術士資格が入っていないのは是正が必要（全国大会建設部会での指摘）。技術士会が CPD 登録証明機関に入っていないのは問題であり早急に是正が必要。兵庫県では建設系 CPD 協議会の設立以前の要領でありクレームもないとの回答であり県に測協から申し入れている。 <p>3. 2020 年度中国本部・県支部の事業計画ならびに予算案について</p> <p>3-1 一般会計収支予算書の説明→承認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設部会の第二回講演会は予備費として計上している。西日本と地域産官学の予算計上の相違についての説明。→了解 ・中国本部基本施策、実践項目の説明 2 月 15 日役員会で討議。 ・中国本部創立 55 周年記念行事の追加あり。他地域本部との共催事業は中国本部担当（西日本業績発表年次大会と併催） ・予算上余裕はないので例会講演会講師は極力遠方からの招請は避けるようお願いしたい。ただし中国本部が、活動を妨げる方向ではないので各部会で参加費や講演者を工夫してほしい。 ・2020 年本部例会講演会は島根県で行う方向で調整中。 <p>3-2 各県支部の事業計画、予算書の説明。→承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県支部、鳥取県支部並びに山口県支部から説明。 ・岡山：繰越金は極力減らし事業補助を増額する方向で行うこと。 <p>4. 中国本部主要事業について</p>

名 称	2019 年度 第 19-4 回 中国本部役員会
	<p>4-1 広島例会 11 月 30 日と本日 12 月 1 日で実施</p> <p>4-2 一次試験合格祝賀会は 2 月 15 日開催。午前中役員会 19-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 呉高専校長による記念講演を組み入れる。二次試験は岡山理科大学 <p>4-3 第二回防災講演会 2020 年 2 月 14 日 広島市弁護士会館で開催テーマは「みんなで考える住民主体の防災計画づくり」</p> <p>4-4 第 26 回西日本技術士研究・業績発表年次大会（鳥取）、2020 年地域産官学（岡山）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西日本技術士研究業績大会は 2020 年 10 月 30、31 日開催。「顕在化する気候変動の影響・・・その「緩和策」と「適応策」が大会テーマ。記念公演は広島大学の海堀先生。 ・ 地域産官学合同セミナーは 2020 年 9 月 12 日岡山理科大学で開催。「持続可能な循環型社会の構築に向けた取り組み(仮称)がテーマ。 <p>5. 委員会部会幹事の最新名簿の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設部会幹事溝山さんを追加 <p>6. 委員会・部会・研究会活動報告並びに 7. 県支部活動報告</p> <p>8. 中国本部活性化について</p> <p>8-1 現役若手世代会員にむけた CPD 事業の活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018、2019 年度の活動実績を踏まえ CPD 事業を活性化していく。1 回あたり 5 万円の補助が出るので支部事業と青年、女性が連携した事業の提案を子なうこと。 <p>8-2 大学高専等の教育機関と連携協力について</p> <p>2020 年 8 月岡山理科大学からの一次試験資格支援等の支援要請が岡山支部にあり今後も支援連携を深めていく。</p> <p>9. その他</p> <p>9-1 中国本部 WEB 小委員会活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統括本部並びに他の地域本部は SKYPE for business を使用している。中国本部のみ TEAMS を運用している状況 ・ 中国本部から発信する際のマニュアルと機器管理台帳を作成したのでご理解の上利用してほしい。 ・ 受信対応マニュアルは今作成中である。（長原）MS アカウントをとる必要がある。 ・ 情報機器を使用した場合は必ず使用台帳に記入すること。 <p style="text-align: right;">以上</p>